

2026 (令和 8) 年度

大阪高等学校秋季テニス大会

日 程 1部 2026 (令和 8) 年 9月 6日～ 10月 17日
 2部 2026 (令和 8) 年 9月 5日～ 12月 20日

会 場 蜻蛉池公園・マリンテニスパーク北村
 鶴見緑地公園・各学校テニスコート



大阪高等学校体育連盟テニス専門部

大会役員

大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

大内 康弘 (泉 北)

呉田 未来 (桜 宮)

藤森 洋弥 (日 新)

奥井 保亘 (寝屋川)

下向 真治 (渋 谷)

大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)

犬伏 誠 (鶴見商業)

浦 尊博 (東住吉総合)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

小林 大地 (桜 宮)

笹井 伸郎 (大商学園)

新谷 啓 (大阪産業大附属)

高木 波也汰 (興 國)

玉川 敬祐 (桜 和)

戸成 慶尚 (桃山学院)

中村 愛美 (伯 太)

守谷 静香 (難波支援)

吉藤 友香 (河 南)

石山 未悠 (大阪女学院)

岩田 泰一 (池 田)

奥井 みなみ (桜 宮)

岸上 啓幸 (関大北陽)

坂本 光男 (大商学園)

下岡 絵里 (淀川清流)

鈴木 将二 (登美丘)

田中 佳奈 (和泉総合)

辻 博規 (大体大浪商)

中井 功 (履正社)

浜本 慎吾 (日 新)

安田 一輝 (枚岡樟風)

進行係 各高等学校テニス部顧問

進行補助員 各高等学校テニス部部員

大会日程

■ 1部

9月 6日 (日)	予 選	各学校	
19日 (土)	予備日	各学校	
22日 (火)	本戦 1・2回戦	各学校	
23日 (水)	予備日	各学校	
10月 3日 (土)	本戦 QF・SF	男女	蜻蛉池公園
4日 (日)	本戦 F・順位決定戦	男女	蜻蛉池公園
17日 (土)	予備日	男女	マリンテニスパーク北村

■ 2部

9月 5日 (土) ～ 12月 19日 (土) の土日祝 1R～QFまで 各学校
 12月 20日 (日) SF・F 鶴見緑地庭球場

- めどとして、9月中旬に2回戦まで、10月中旬にベスト8まで、11月中旬にベスト4まで進むようにHPで対戦相手を確認し、連絡を取り、試合をすること。

【注意】

- 1部の試合は9月6日(日)、2部は9月5日(土)から始めること。
- 雨天の場合も会場に行き、次の日程の確認をすること。ただし、会場校が延期を事前に判断する場合は、会場校から延期の連絡を各校にする場合がある。
- 2部の試合については近畿大会・授業・試験中・修学旅行などは考慮するが、それ以外(定期考査前など)は優先せず、試合優先とする。*詳しくは最下部を参照
- 本戦の選手登録に関しては、予選時の選手登録に対して、選手の入替えや登録枠内での追加登録が認められる。その場合は参加申込変更届を提出すること。

登録選手の入替え、追加がある場合は、期限までに参加申込変更届をダウンロードし、必要事項を入力したファイルを作成すること。また、入力したエクセルファイルおよび総括表をPDFファイルにしたものを期限までに
entry@osaka-hs-tennis.com に添付し送信すること。期限は9月18日(金)とする。

- 本戦QF以降の試合開始時間は9時とする。
- 予選ブロックの優勝校および本戦ベスト8に勝ち残った学校が決まり次第、高体連ホットラインに連絡すること。

■ 1部 DA校 (学校番号順)

男子

1. 高槻北
2. 清風
3. 興國
4. 大阪産大附
5. 浪速
6. 履正社
7. 大阪国際
8. 近大附

女子

1. 桜宮
2. 大阪女学院
3. 浪速
4. 城南学園
5. 大商学園
6. 大阪学院
7. 同志社香里
8. 大商大塚

大会注意事項

1. 試合会場および日程について

- 予選においては、各ブロックの会場校が、本戦1・2回戦においては、シード校が、会場・日時を設定し、緊急の連絡先(携帯電話番号など)も合わせて残りの学校に連絡し、すみやかに試合を進めること。
- 1部においては本戦1回戦、および本戦QFまでに必要な試合を消化できない場合は、そのブロックは棄権したものとみなす。
- 2部においても、決められた日時までに試合を行わない場合は棄権したものとみなす。また、指定された試合日程に対戦しないチームも棄権したものとみなす。
※試合は、本要項に定められた日程表に従って進行しなければならない。

2. 出席の届け出について

- 各チームは、あらかじめ設定された試合開始予定時刻の15分前までに、顧問または学校職員と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ出席を届けること。
- 1部の試合と2部のSF・Fは顧問または、学校職員の付き添いがなければ失格とする(2部のSF・F以外については、顧問または学校職員の付き添いは原則必要とする)。いかなる理由であれ、これを怠ったチームは失格となる。(ただし、公共交通機関の事故等で延着証明書などがある場合はこのかぎりでない。その場合、すみやかに会場校の代表者に連絡をいれること。)

3. 試合の順序、方法について

- 1部においては、単3・複2の5ポイント、2部においては、単2・複1の3ポイントの団体戦とする。
- 試合は、1部においては、S1・D1・S2・D2・S3、2部においては、D1・S1・S2の順に試合を行うが、進行の都合上、試合を並行して行うことがある。
- 各日、各校の初戦はすべての試合を行い、その後は原則、勝敗が決定した時点で打ち切る。公営コートにおいては2試合目以降は勝敗が決定した時点で打ち切る。

4. 登録選手およびオーダーについて

- オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し会場に持ってくること。
- 登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
- オーダーについては、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。ただし、単については、登録順位の上位のものを、複についてはペアの登録順位の合計が上位の組を、合計が同じ場合は登録上位の選手を含む組をオーダーの上位に置かなければならない。
- 同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- オーダー用紙は、対戦相手が決定次第速やかに大会本部に提出すること。ただし、各学校で試合を行う際は、会場校への提出は不要とする。

5. 試合に際して

- 試合は日程表に基づき進行するが、天候やその他やむを得ない理由により、変更することがある。代表者は必ず次の試合日程を確かめること。
- 試合は1部・2部とも、1セットマッチ(タイブレークシステム)を採用する。ただし、1部本戦ベスト8以降と順位決定戦、2部のSF・Fは8ゲームズプロセットマッチ(いずれもタイブレークシステム)を採用する。

- 対戦チームは試合開始前にコートに入り、整列、挨拶をし、オーダーを交換する。もし相手チームのオーダーに疑義がある場合や、互いに交換した相手校のオーダー用紙に問題が発覚した場合は直ちに確認すること。

※ オーダーを間違った場合は次のように処理すること。

- ① 1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。
- ② 試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。
(次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出すること。)
- いかなる場合も、登録メンバー以外の出場は認めない。1チーム(1部4～9名、2部4～5名)が構成できない場合、失格とする。
- コートに入れる人はプレーヤー、レフェリー、ロービングアンパイアに加え、ベンチコーチとして1面に1人とする。シングルスの場合のみ各学校1面にボールパーソン1人つけることができる。
- ベンチコーチは付き添いの顧問または学校職員のうち、オーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。
- 会場校は各校に可能な限り対戦前に公平になるよう練習時間を設定すること。また、各試合前のウォームアップは3分を超えてはならない。(レフェリー・会場系の指示が別にある場合はそれに従うこと。)
- プレーヤーは、指定されたコートに入り、まずトスをしてサービス・エンドを決めてからウォームアップに入る。ウォームアップはサービス4本、または会場レフェリーの指示による。
- サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。

- ① 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
- ② 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
- ③ 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせず有効となります。

- プレーヤーは、試合中はだれからもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可。
- 応援は、他のコートへ迷惑がかからないようにする(テニス必携『大会情報＞注意事項』参照)。
- この試合はセットブレイク方式を採用しない。(第1ゲームのチェンジエンドの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める。)
- 試合は、最初のサービスから最後のポイントまで連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。また、プレーヤーはコートを離れることは許されない。もし無断で(レフェリーの許可を得ず)離れた場合は失格する。
- 上記規則、注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は失格とする。
- 全試合、セルフジャッジとする。コートの自分のサイドの判定はプレイヤーが正しく行うこと。
- 不適切なジャッジに対しては、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。
- 1人が連続して試合をしなければならない場合の休憩は、程度によりレフェリーが判断する。

6. 服装について

- 服装は、JTAテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴサイズなど）は、更衣を求める。更衣しなければ失格になることがある。
- 靴は必ずテニスシューズであること。
- 試合中にガットが切れた場合、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
- ラケットにステンシルマークをつけることは認められている。

7. その他

- 公営コートでは試合当日に、試合に出場している学校や個人がコートを借りて練習することを禁止する。
- 会場へバイクや車で行くことは、選手はもちろん応援も含めて厳禁する。
- 各学校では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- 試合についての質問は、顧問及び選手のみに関し、保護者や観客はできない。
- ゴミは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないよう、最大限の協力をしなければならない。
- その他、レフェリーまたは会場校生徒（試合進行の係）の注意・指示を良く守り、テニスプレーヤーらしい行動をとること。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 1. 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 2. 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なく SNSなどにあげる行為を禁止する。

8. 記録の報告について

- 勝ったチームは、HPよりダウンロードし自校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、**会場校に提出**すること。
- **会場校**は、**試合日ごとに結果をメール（hokoku@osaka-hs-tennis.com）で報告**してください。なお、提出された結果報告用紙はデータ化し、メールに添付（PDFファイルがのぞましい）して送信してください。

1部の例

件名	秋季 1部【男子・女子+ブロック番号】結果	※例：秋季 1部男子 1ブロック結果
本文	男子 1ブロック優勝 ○○高校 会場 △△高校（ 会場責任者名 ）	※男子か女子・ブロック番号・優勝校を明記 ※ 顧問や学校職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果（PDFファイルがのぞましい）	

2部の例

件名	秋季 2部【男子・女子】結果	※例：秋季 2部男子結果
本文	ドロー番号○○高校 Aチームが、ドロー番号 △△高校 Cチームに勝ちました。 会場 △△高校（ 会場責任者名 ）	※ドロー番号・学校名を間違えないように 明記してください。 ※ 顧問や学校職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果（PDFファイルがのぞましい）	

***2部の試合進行について**

- HPで対戦相手を確認し、顧問の先生に連絡先を教えてください連絡を取るようになります。連絡は、上位チーム(シード校＞Aチーム＞Bチーム＞...)、同じランクの場合はドロー番号の小さいチームが中心になり連絡をとること。
- 試合はお互いの都合のいい日ではなく、「試合のできる日」に行う。
*「試合のできる日」：コートが確保でき、他の試合(近畿大会・1部の試合・公立大会・田村杯のみ)や、学校行事(修学旅行・文化祭・授業・定期考査中)のない日をいう。
*[9月中旬に2回戦まで、10月中旬にベスト8まで、11月中旬にベスト4まで]
- 進行が遅れそうな場合や、上記以外の理由で試合を行わないチームがいた場合、ホットラインに連絡し本部が状況を確認し失格とする。
高体連ホットライン hokoku@osaka-hs-tennis.com
- 会場については、上位チーム、ドロー番号の小さいチームの順に優先して決めることができる。(双方の状況を考慮し決定すること。)